

コペンハーゲン大学北極観測所*

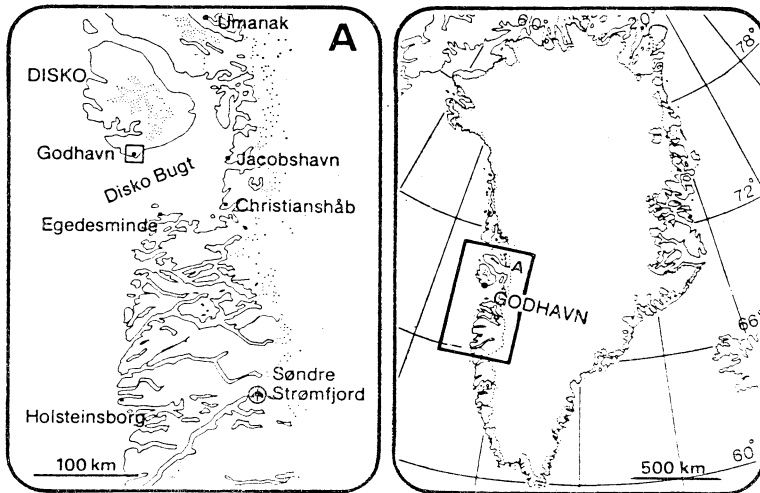
菊地 勝 弘**

文部省科研費補助金（国際学術研究）「低温型雪結晶と極域エアロゾルの研究」の現地調査として、1989年12月から1990年1月の約1カ月間、グリーンランド西岸のディスコ島ゴッドハウ（グリーンランド名：ケケターサーサク、人口約900人）（69°15'N, 53°34'W）で観測を行った。グリーンランドの、しかも北極圏に位置する交通の便も決してよくない島に、信じられない程立派で、しかも機能的な観測所があるので紹介しよう（第1図）。

1. 北極観測所

ここにある北極観測所（Arctic Station）の歴史は古く、1906年に植物学者の M.P. Porsild によって設立され、彼はその後40年間、この観測所のリーダーとして、

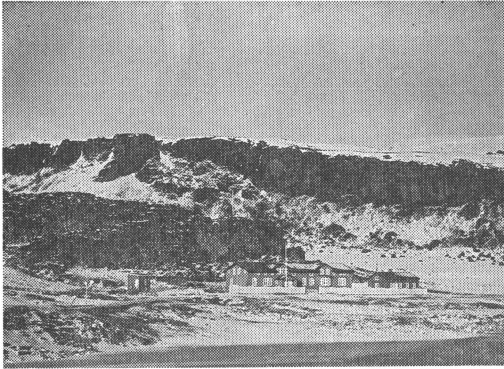
北極域における植物学の研究に貢献した。現在、観測所は単なる北極域の研究拠点としてばかりでなく、北西グリーンランドの文化センター的な機能も有し、1953年にデンマーク・コペンハーゲン大学理学部附属となった。1966年に別棟の研究室と図書室が完成し、1980年には大幅な改築が行われ、今日の観測所になった。現在は更に所長宿舍、車庫および工作室の計4棟からなっている。最新の設備を有する採集船 Porsild 号（20トン）も利用できる。本館は教官2名、学生26名が収容できる部屋と、講義室、談話室、食堂、そしてキッチン設備は一級品である。使用料は1泊約1,500円、週2度の掃除、シーツの交換もしてくれる。町はずれなのでスーパーまでは片道徒歩15分、環境良好。常駐の Scientific Leader, Station Manager の協力も得られる。



第1図 ゴッドハウンの位置

* Arctic Station, University of Copenhagen.

** Katsuhiko Kikuchi, 北海道大学理学部地球物理学教室.



第2図 コペンハーゲン大学北極観測所



第3図 ゴッドハウンの測候所。

2. 交通

北極観測所への交通は、まずデンマーク・コペンハーゲン空港からグリーンランドの空の玄関口、西海岸にあるサンドレストロム・フィヨルドまで SAA が週2～3便、DC-10 型機を運行している。ここからグリーンランド航空のダッシュ7型機(50人乗り)でヤコブスハウへ1時間、ここでシコルスキー61型ヘリコプター(20人乗り)で30分でゴッドハウである。ヘリポートの背後に見える茶と白の大きな建物が観測所(第2図)である。ここには、デンマーク気象局(DMI)の測候所(第3図)もあるが、データは全て気象局に送られている。

3. 手続き

グリーンランドで研究観測を行うためには、グリーンランド科学研究委員会(The Commission for Scientific Research in Greenland)に計画調書を出さなければならない。委員会を選んだ専門家の意見のもとに研究観測の可否が決められ、その結果、Danish Polar Centerから許可証が届くことになる。それぞれの住所は次の通りである。

The Commission for Scientific Research in Greenland
Øster Voldgade 10, DK-1350
Copenhagen K, Denmark
Dansk Polar Center
Hausergade 3, DK-1128
Copenhagen K, Denmark

第31回(平成2年度)東レ科学技術研究助成候補者の推薦募集

1. 候補者の対象

貴学協会に関する分野で基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者、またはそのグループ。

2. 研究助成金

総額1億円前後、10件程度としますが、とくに重要と認められる研究については、3,000万円程度でも助成を考慮します。

3. 候補者推薦件数

1学協会から2件以内および1推薦委員から1件以内

4. 推薦者

学協会の代表者および推薦委員

5. 推薦手続

所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当会宛1部ご送付願います。

6. 推薦締切期日

平成2年10月11日(木)(日本気象学会提出締切期日は9月14日)

7. 研究助成金の贈呈

平成3年3月の予定
推薦書提出先・連絡先

〒279 千葉県浦安市美浜 1-8-1 (東レビル)

(株)東レ科学振興会

Tel. (0473) 50-6103